



地球のどこかで...

世界報道写真展

~2008~



《世界報道写真大賞》
アフガニスタンのコレンガル渓谷の
掩蔽壕で休息をとる米軍兵士
ティム・ヘザリントン(ヴァニティフェア誌)

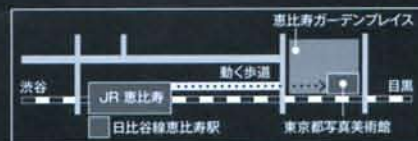
WORLD PRESS PHOTO 08

2008年 6月14日[土] - 8月10日[日]

東京都写真美術館 地下1階展示室

開館時間:10:00~18:00(木・金は20:00まで)入館は閉館の30分前まで 休館日:毎週月曜日(但し7月21日は開館、翌22日も開館)
観覧料:一般700(560)円、学生600(480)円、中高生・65歳以上400(320)円、小学生以下無料 ※()内は20名以上の団体割引料金

主催:世界報道写真財団、朝日新聞社 共催:東京都写真美術館 後援:オランダ王国大使館、社団法人日本写真協会、社団法人日本写真家協会
協賛:キヤノン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、ティエヌティエクスプレス株式会社 協力:グーグル株式会社
お問合せ:東京都写真美術館 TEL.03-3280-0099
東京都目黒区三田1-13-3恵比寿ガーデンプレイス内 JR恵比寿駅東口より徒歩7分 公式HP:http://www.syabi.com/



WORLD PRESS PHOTO 08

地球上では、今なお多くの場所で争いが起き、人々が飢え、苦しみや悲しみに満ちた日々を送っています。私たちが普段目にする事のないこのような事実を、写真はありのままに伝えます。戦闘に疲れ果てた若い兵士の姿、虐待に苦しむ子どもたち、逃げまどう人々...。見過ごすことのできない状況が、そこには写し出されているのです。

世界報道写真財団(本部・オランダ)が開催する世界報道写真コンテストに、今年は125カ国から5000人以上の報道写真家が応募しました。応募総数80536点。その中から、選り抜かれた59人の作品を紹介します。同じ星に住む私たちにとって他人事ではない世界の姿を、しっかりと見つめてください。

《スポットニュースの部 単写真1位》
ジョン・ムーア(アメリカ)



ベナジル・ブット元首相の暗殺
-12月27日、パキスタン、ラワルピンディー
(ゲッティ・イメージズ)

《スポットニュースの部 組写真2位》
ロベルト・シュミット(コロンビア/ドイツ)



ケニア大統領選挙後の混乱
-12月31日、ナイロビー
(AFP通信)

《ニュースの中の人びとの部 組写真1位》
フィリップ・デュドゥワ(スイス)



クルド労働者党(PKK)の兵士
-クルディスタン南部/イラク北部-
(タイム誌向け)

《スポーツ・フィーチャーの部 組写真1位》
エリック・レフネル(デンマーク)



コペンハーゲンで開催されたマラソン大会のゴール
-5月18日、コペンハーゲン
(ベルリンスケ・ティデンデ)

《現代社会の問題の部 単写真1位》
プレント・スタートン(南アフリカ)



マウンテンゴリラの死体の収容
-コンゴ民主共和国東部、ヴィルンガ国立公園-
(ゲッティ・イメージズによるルボルター・ジュからニュースウィーク誌)

《日常生活の部 組写真1位》
ピーテル・テン・ホーベン(オランダ)



見えない町キテズ
-ロシア西部ニズノプロゴド近郊-
(アジヤンス・ヴェ)

《ポートレートの部 組写真1位》
ヴァネッサ・ウィンシップ(イギリス)



トルコ東部の学校の女生徒
(アジヤンス・ヴェ)

《アート&エンタテインメントの部 単写真1位》
アリアナ・リンキスト(アメリカ)



アニメのコスプレを楽しむ少女
-中国、上海-

《自然の部 組写真2位》
ポール・ニツクレン(カナダ)



北極の牙、イッカクの捕獲
-カナダ、ヌナヴートー
(ナショナル・ジオグラフィック誌)